



2008ITU世界選手権バンクーバー大会U-23・エリートの部速報 井出が11位、田山が18位で北京は決定せず

U-23女子は菊池が11位、男子は下村が47位

6月8日(日)、カナダ・バンクーバーで、2008ITU世界選手権のU-23(23歳以下)とエリートの部が行われた。

54年ぶりにこの時期の最低気温を更新したというバンクーバーの気温は12度、水温12度と低く、小雨が降った。

午後1時にスタートしたエリート女子は、スイムをサラ・マクラーティ(アメリカ)がトップフィニッシュ。日本選手は、崎本智子(日本食研)の11位が最高で、庭田清美(アシックス・ザバス)が34位、井出樹里(トーンパートナーズ・チームケンズ)は37位と出遅れた。

バイクでは、サラ・ハスキンス(アメリカ)とヘレン・タッカー(イギリス)が逃げる態勢をつくり、その後ろにはいくつかの集団ができた。第3集団には崎本と井出が入っていた。第4集団には、庭田と上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)が入った。

ランでは、やはりハスキンスとタッカーが先行してマッチレースを展開。崎本と井出は15位前後でランに出た。結局タッカーが2時間1分37秒で優勝した。2位はハスキンス、3位はサマンサ・ワリナー(ニュージーランド)で、北京行きを決めた。

日本選手は、井出がランで順位を上げて11位。崎本はランの後半にスピードを落として27位、上田29位、庭田35位となった。



男子は浅瀬を走って飛び込むスタート

井出 樹里
トーンパートナーズ・チームケンズ



気温、水温とも低く、バイクでも身体が冷えた。つま先がかじかんだ感覚となり、トランジションでうまくシューズが履けなかったため、ランに出遅れた。足の感覚がなかなか戻らず、ランの前半はうまく走れなかった。後半追い上げたが、いま一步及ばなかった。

田山 寛豪
流通経済大学・チームプレイブ



バンクーバー入りしてから、スイムの調子が良かったので余裕をもってスイムができた。バイクは大きな集団になりすぎて、ローテーションなどがうまく機能しなかった。バイクからランへのトランジションで、いい位置を取れなかったので、ランで順位をあげたが、とどかなかった。

JTU Official Sponsors & Official Partners





観客席からトランジションを通過するバイクを見る

山本は、一時、一人逃げを見せた

午後4時スタートの男子は、スイムの1周目を最初に上がったのは「現地入りしてからスイムの調子がいい」と語った田山寛豪(流通経済大学・チームブレイブ)。スイムフィニッシュも5番手で上がった。

バイクでは、すぐに30名以上の大集団ができあがり、そのなかには、田山、福井、山本良介(トヨタ車体)が入った。第2集団には細田雄一(ウイダー)がいて、第3集団には杉本宏樹(チームブレイブ)と西内洋行(西京味噌)が入った。山本は、終盤に一人逃げを試みるなど、積極的に走った。

ランに入ると、約15名が5秒の間にトランジションを飛び出した。その後ろにつけるのは田山と福井。先頭集団からリードしたのはチャベール・ゴメス(スペイン)で、そのまま走力を見せつけ、1時間49分48秒で優勝した。2位はベバン・ドカティ(ニュージーランド)、3位はレト・フグ(スイス)。この3名が北京への代表権を得た。

日本選手は、田山が順位を上げたが18位。福井28位、山本42位、細田54位、杉本66位、西内67位だった。

このレースの結果では、北京オリンピック日本代表選手の決定と内定は見送られた。

今後、JTU強化本部での選考を経て、6月14日のJTU理事会で代表選手が決定。同日、記者発表が行われる。

U-23のレースは、女子は菊池日出子(順天堂大学/チームブレイブ)が11位、男子は下村幸平(大阪府協会/JSS深井)が47位だった。

このレースの様子は『web JTU Magazine』フォトギャラリーでご覧になれます。



左が3位のワリナー



前を追う田山

菊池 日出子

順天堂大学/チームブレイブ



スイムがまあまあの位置だったので、バイクで頑張ろうと思った。しかし、集団がうまくローテーションなどができずにスピードをあげられなかった。ランへは、10位の位置で出たので、そのままトップテンに入りたかったが、一人、抜かれてしまった。来年、雪辱したい。

JTU Official Sponsors & Official Partners

